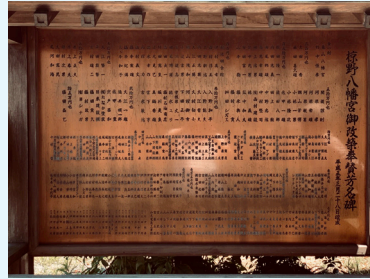
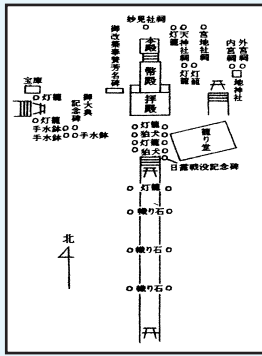


# 棕野八幡宮



平成5年 御社殿改修芳名碑



棕野八幡宮は農業従事者が崇敬参拝されたお宮です。

祭事は歳旦祭(一月)地神祭(四月)牛馬安全祭(六月)祇園祭(七月)風鎮祭(八月)例大祭(十月)新嘗祭(十一月)大祓式(十二月)と古くから伝承されて来ました。

私共は先人達から受け継いだ祭事を後世に継いで行かなくてはなりません。精一杯伝承していきつもりです。

棕野地区では今でも伊勢講という講がありまして、年一回講員の中から四名が伊勢神宮に参拝し棕野地区住民の平和と安全、五穀豊穡を願うものです。



棕野自治連合会会長 安田正信

棕野村 ④下関市大字棕野・棕野町一丁目の各全域のみそ川町の一部  
現下関市の南部にあり、大鳥越山の東南で、四方は山に囲まれた小村。西は後田、南は東は藤ヶ谷、北はノ宮、熊野南は赤間関後地の各村に接する。長府藩領で東豊浦郡前支配に属する。

慶長一五年(一六一〇)の検地帳に「棕野」とみえ、後田と合石で記載される。総石高は四六三石余、うち田三町余で三九八石余、畠二町余で四四石余、百姓屋敷四六、豊浦藩明細書によれば、田畠現作高二町余で田高一〇石余、畠高一石余。

「長府毛利家乗」の文久三年(一八六三)五月二日の条に、宮を棕野村に造り移すを宗家に譲す。宗家を可す。棕野村は府城と赤間関の間に在り、是に於て府関を左右にし、運浦を前にし地理の便なるを以て専ら海防を指揮せんと欲し、壘浦を此に設くるを譲す。然れども其後陸軍の由り後ち更に勝山を扼之に當り、棕野は砲台兵屯の地となす」と記される。

明治二四年(一八九二)砲台が建設され、戦場ヶ原現後田町とともに重要な要地であった。  
村域内に棕野八幡宮があり、寺院には天台寺門宗の円徳寺、高野山真言宗の法王寺がある。豊浦藩明細書にはそのほか天満宮・祇園社・大蔵社・妙見社・貴船社を記す。  
(山口県の地名「平凡社」より)

## 総務部会

本年度より総務部会長を仰せつかりました佐々木です。新型コロナウイルス感染拡大に伴って、社会の風潮が、「人と接触するな」となれば、まちづくり協議会は、活動をするなど言われているようです。

総務部会としては、各部会の方々と連携しながら、このような状況で何をすべきかを考えながら進めて参ります。とは言え、自分たちが一番楽しめる部会にしていきたいです。

中東まち協のウェブサイトの「お知らせ」サイト (<http://chuto-machikyo.net/oshirase.html>) に、  
・環境省・厚生労働省／熱中症予防×コロナ感染防止で『新しい生活様式』を健康に！(チラシのダウンロード)  
・厚生労働省／新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称：COCOA)(チラシのダウンロード)を掲載しました。(倉本)

## メンバー

局長計問	長夫智郎	(広報総合調整)
事務局	和真一	(各部会調整)
内安濱林	山田本	(HP作成管理)
山田本	乾喜育	(総務部会調整)
木辻本本	二文博士	
佐尾倉古		
会長計問		
副会長		
事務局長		
監事		
監事		
顧問(前会長)		
顧問		
顧問		
顧問		
顧問		



## 事務局だより 第3号

6月1日に開催されました運営委員会において、「下(しも)まちアプリ」についてまちづくり政策課より説明及び協力依頼がありました。

事業内容は、17まち協と下関市が共同でスマートフォンアプリを使って情報発信するものです。内容は、まち協の活動、自治会や小中学校の活動予定も入ったコミュニティカレンダー、避難所マップ、下関市各種相談窓口、緊急連絡先一覧など盛り沢山です。

本年10月の運用開始を予定しています。AR機能を活用したスタンプラリーや街歩きの実施も可能です。楽しみにお待ち下さい。

## 中東地区まちづくり協議会 新役員と部会長

総務部会長	佐々木乾二
環境・防災対策部会長	野村泰三
健康・福祉部会長	延谷鐵子
子育て・青少年育成部会長	勝本竜一
地域づくり部会長	田中英行
会長	内山和章
副会長	河村ユキエ
副会長	安田和夫
事務局長	濱本智
会計	松本良人
監事	森真一
監事	林典子
顧問(前会長)	井川真一
顧問	本坂涼子
顧問	池本晴美
顧問	川本典子